

## コミンテルン

<http://tainak.jp/>

中国共産党（CCP）[5]は、正式には中国共産党（CPC）であり、中華人民共和国（PRC）の創設者であり唯一の与党です。

CCPは、他の8つの法的に許可された下位の小政党を統一戦線として一緒に率いています。

CCPは、主に陳独秀と李大釗によって、ソビエト連邦共産党の極東局と国際共産党の極東事務局の助けを借りて、1921年に設立されました。

パーティーは急速に成長しました。

1949年までに、国民党（KMT）、中国内戦後、中国本土から台湾に追いやられ、1949年10月1日に中華人民共和国が設立されました。

CCPは、国の軍隊である人民解放軍（PLA）を管理しています。

それはまた、中国の歴史における2つの主要な歴史的現代党の1つであり、もう1つは国民党である。

CCPは、中国の権威主義的なマルクスレーニン主義の一党制国家を率いています。

党は民主集中制に基づいて公式に組織されている。

これはウラジーミル・レーニンによって考案された原則であり、合意された決定を支持する際の党員間の統一を条件とする政策のオープンな議論を伴う。

理論的には、CCPの最高機関は、5年ごとに開催される国民会議です。

国民会議が開かれていないときは、中央委員会が最高機関ですが、通常は年に1回しか会合がないため、ほとんどの義務と責任は政治局とその常任委員会、後者のメンバーは党と国家の最高指導者と見なされていた。

党の指導者は最近、書記長（民間党の任務を担当）、中央軍事委員会（CMC）の議長（軍事を担当）および州大統領（主に儀式的地位）の役職を務めている。

これらの投稿を通じて、党首は国の最高指導者です。

現在のリーダーは、2012年11月15日に開催された第18回中央委員会で選出された習近平です。

公式には、CCPは共産主義に取り組んでおり、毎年共産党と労働者党の国際会議に参加し続けています。

党憲法によれば、CCPはマルクス・レーニン主義、毛沢東思想、中国の特徴を備えた社会主義、鄧小平理論、3つの代表、科学的発展観、習近平思想を遵守している。

中国の経済改革の公式な説明は、中国が社会主義の第一段階にあるということです、資本主義の生産様式に似た発達段階。毛沢東の下で確立されたコマンド経済は、「実践は真実の唯一の基準」に基づいて、現在の経済システムである鄧小平の下で社会主義市場経済に置き換えられました。

独断主義と戦うことを目的とした1978年の記事によって強化された原則そして二つのすべての政策を批判した。

1989年から1990年に東欧共産党政府が崩壊し、1991年にソビエト連邦が解散して以来、中国共産党は残りの社会主義国の与党との政党間関係を強調してきました。

CCPは依然として世界中の非与党共産党との政党間関係を維持しているが、1980年代以降、いくつかの非共産党、特に一党国家の与党との関係を確立している。

民主主義の支配的な政党と社会民主党。2021年の時点で、CCPには9,500万人以上のメンバーがおり、インドのインド人民党に次ぐ世界第2位の政党。

創設と初期の歴史（1921–1927）

旧上海フランス租界での最初のCCP会議の場所

CCPは、その起源を1919年の5月4日の運動にまでさかのぼります。

その間、マルクス主義やアナキズムなどの急進的な西洋のイデオロギーが中国の知識人の中で注目を集めました。

ボルシェビキ革命とマルクス主義理論に起因する他の影響は、中国共産党に影響を与えた。

陳独秀と李大釗は、レーニン主義と世界革命を公に支持した最初の人物の1人でした。

両者は、ロシアの10月革命を画期的なものとし、それがあらゆる場所の抑圧された国々の新時代を告げるものであると信じていました。

蔡和森によれば、研究サークルは「（私たちの党の）基本」でした。

新文化運動の間にいくつかの研究サークルが設立されたが、「1920年までに、改革の手段としての彼らの適合性についての懐疑論が広まった」。

CCPによる公式の物語の説明によると、CCPは1921年7月1日に設立されました。

しかし、党の文書によると、党の真の創設日は実際には1921年7月23日、つまりCCPの第1回全国大会の初日の日付でした。

CCPの創設全国大会は1921年7月23～31日に開催された。

1921年の初めには50人のメンバーしかいなかったため、CCPの組織と当局は途方もなく成長した。

もともとは上海フランス租界の家で開催されていたが、フランス警察は7月30日に会議を中断し、会議はサウスレイクの観光船に移された。

浙江省嘉興市で十数人の代表が議会に出席し、李も陳も出席できなかった。

後者は、彼の代わりに個人代表を送った。

議会の決議は、共産党の設立を要求し（コミンテルンの支部として）、陳をその指導者として選出した。

その後、陳は共産党の初代書記長を務め、「中国のレーニン」と呼ばれた。

ソビエトは、反共産主義国、特に日本と戦うために極東で親ソビエト軍を育成することを望んでいた。

彼らは武將の呉佩孚に連絡を取ろうとしたが失敗した。

その後、ソビエトは、北京政府と並行して広州政府を率いていた国民党（KMT）に連絡した。

1923年10月6日、コミンテルンはミハイルボロディンを広州に派遣し、ソビエトは国民党と友好関係を築きました。

CCPの中央委員会、[27]ソビエトの指導者ヨシフスターリン、コミンテルンは全員、CCPが最終的に国民党を支配することを望み、敵対者を「右派」と呼んだ。

太陽は、共産主義者とその敵対者との間の対立を和らげた。

CCPのメンバーは、第4回議会の後、1925年の900人から2,428人に大幅に増加しました。

原始共産党であり、孫文の経済的要素は社会主義であった。

Sunは、「私たちの生計の原則は共産主義の一形態である」と述べました。

共産主義者たちは、レーニン主義勢力で組織された党であるKMTの左翼を支配し、党の右翼との権力争いを繰り返し続けた。

国民党主席の孫文が1925年3月に亡くなったとき、彼は共産主義者の地位を疎外する動きを始めた右派の蒋介石に引き継がれた。

サンスの元助手であるチェンは、階級闘争の理論と中国共産党の権力の掌握を嫌っていたにもかかわらず、当時は積極的に反共産主義者ではなかった。

共産主義者たちは、チェンの権力を取り除くことを提案した。

チェンが徐々に西側諸国の支持を得たとき、彼と共産主義者との対立はますます激しくなった。

チェンは国民党にコミンテルンに参加してKMTにおける共産主義者の秘密の拡大を排除するよう要請し、陳独秀は共産主義者がKMTから完全に撤退することを望んでいた。

1927年4月、チェンと中国共産党の両方が戦闘の準備をしていました。

軍閥を倒すための北部探検の成功から新たに、蒋介石は共産主義者をオンにしました。

共産主義者は今では中国全土で数万人にのぼります。

武漢に本拠を置く国民党政府の命令を無視して、彼は共産主義民兵によって支配されている都市である上海に進軍した。

共産主義者たちはチェンの到着を歓迎したが、彼は彼らをオンにし、グリーンギャングの助けを借りて5,000人を虐殺したその後、チェンの軍隊は武漢に進軍したが、CCPのイエティン將軍と彼の軍隊によって都市を占領することを妨げられた。

チェンの同盟国も共産主義者を攻撃した。

北京では、李大釗と他の19人の主要な共産主義者が張作霖によって処刑され、長沙では、長沙の軍隊が数百人の農民民兵を銃撃した。

この刺激の影響を受けて、CCPによって支持された農民運動はより残酷になった。

有名な学者であるYeDehui [ zh ]は、共産主義者によって殺害されました。

彼は復讐として何百人もの農民民兵を撃った。

その5月、数万人の共産黨員とその共産黨員が民族主義軍によって殺害され、中国共産党は25,000人のメンバーのうち約15,000人を失った。

中国内戦と日中戦争（1927–1949）

CCPは引き続き武漢国民党政府を支援したが、1927年7月15日、武漢政府はすべての共産黨員を国民党から追放した。

CCPは、国民党と戦うために、「赤軍」としてよく知られている中国の労働者と農民の赤軍を設立することによって反応した。

朱徳将軍が率いる大隊は、1927年8月1日、南昌蜂起として知られるようになった南昌市を占領するよう命じられました。

最初は成功しましたが、5日後に撤退を余儀なくされ、南に汕頭まで行進し、そこから福建省の荒野に追いやられました。

毛沢東が赤軍の最高司令官に任命され、湖南省全体で農民の蜂起を引き起こすことを期待して、秋収蜂起で長沙に対して4個連隊を率いた。

彼の計画は、9月9日に国民党が保有する都市を3方向から攻撃することであったが、第4連隊は国民党の大義に見捨てられ、第3連隊を攻撃した。

毛の軍隊は長沙に到着しましたが、それを受け入れることができませんでした。

9月15日までに、彼は敗北を受け入れ、1,000人の生存者が江西省の井岡山に向かって東に行進しました。

CCPの都市組織機構がほぼ破壊されたことで、党内の制度が変化した。

党は、革命党を組織する方法である民主集中制を採用し、（中央委員会の常任委員会として機能するために）政治局を設立した。

その結果、党内の権力の中央集権化が進んだ。

党のあらゆるレベルでこれは複製され、常任委員会が現在効果的に管理されている。

党から追放された後、陳独秀は中国のトロツキスト運動を主導し続けた。

李立三は事実上想定することができた(1929年から30年までの政党組織の支配)。

李立三のリーダーシップは失敗であり、中国共産党は破壊の危機に瀕していた。

コミンテルンが関与し、1930年後半までに彼の権力は奪われた。

1935年までに、毛沢東は党の政治局常任委員会のメンバーおよび非公式の軍事指導者になり、周恩来と張聞天は党の正式な首長であり、彼の非公式の代理人を務めた。

国民党との対立は赤軍の再編成につながり、現在は軍の監督を担当するCCPの政治部門の創設を通じて、権力がリーダーシップに集中している。

日中戦争は、CCPと国民党の間の紛争を一時停止させました。

侵略に取り組むために、CCPとKMTの間に第2統一戦線が設立された。

前線は1945年まで正式に存在していたが、両党間のすべての協力は1940年までに終了した。

1939年、国民党は中国国内でのCCPの拡大を制限し始めた。

これは、CCPと国民党の部隊間の頻繁な衝突につながった。

しかし、内戦は選択肢ではなかったという双方の認識で急速に沈静化した。

それでも、1943年までに、CCPはKMTを犠牲にしてその領土を再び積極的に拡大していた。

毛沢東は1945年に中国共産党の議長になりました。

1945年から1949年まで、戦争は2つの党に縮小されました。

## CCPと国民党

この期間は4つの段階を経て続いた。

最初は1945年8月（日本人が降伏したとき）から1946年6月（CCPと国民党の間の和平交渉が終わったとき）まででした。

1945年までに、国民党はCCPの3倍の兵士を指揮下に置き、当初は優勢であるように見えた。

アメリカ人と日本人の協力により、国民党は国の主要な部分を奪還することができた。

しかしながら、再征服された領土に対するKMTの支配は、風土病の政党の腐敗のために不人気であることが判明するだろう。

その巨大な数値的優位性にもかかわらず、国民党はCCPの拠点を構成する地方の領土を征服することができませんでした。

ほぼ同時に、中国共産党は満州への侵攻を開始し、そこでソビエト連邦の支援を受けた。

1946年7月から1947年6月まで続く第2段階では、国民党が延安（戦争の大部分のCCP本部）などの主要都市に対する支配を拡大した。

国民党の成功は空虚だった。

CCPは戦術的に都市から撤退し、代わりに都市の学生と知識人の間で抗議を扇動することによってKMT当局を攻撃した（KMTはこれらの事件に激しい弾圧で対応した）。

その間、国民党は派閥内戦と蒋介石の党に対する独裁的な支配に苦しんでおり、国民党の攻撃への対応能力を弱めた。

1947年7月から1948年8月まで続く第3段階では、CCPによる限定的な反撃が見られた。

目的は、「華中、中国東北部の強化、中国東北部の回復」をクリアすることでした。

この政策は、国民党軍からの脱走（1948年の春までに、国民党軍は300万人の軍隊のうち推定2人を失った）と相まって、国民党支配の人気を低下させた。

その結果、CCPは満州のKMT駐屯地を遮断し、失われたいくつかの領土を奪還することができた。

1948年9月から1949年12月まで続く最後の段階では、共産主義者が主導権を握り、中国本土全体でKMT支配が崩壊した。

1949年10月1日、毛は中国革命の終焉を意味する中国の設立を宣言した（それは中国共産党によって公式に説明されている）。

中国を設立し、唯一の与党になる（1949年～現在）

1949年10月1日、毛沢東議長は天安門広場の大勢の群衆の前で中国の設立を正式に宣言しました。

CCPは中央人民政府を率いました。

この時から1980年代まで、CCPのトップリーダー（毛沢東、林彪、周恩来、鄧小平など）は、中国が設立される前はほぼ同じ軍事リーダーでした。

その結果、政治的指導者と軍事的指導者の間の非公式の個人的なつながりが政軍関係を支配した。

スターリンは、1952年に劉少奇がソビエト連邦を訪問したときに一党制を提案した。

その後、1954年の中国憲法は前の連合政府を変更し、CCPの唯一の統治システムを確立した。

毛は、中国は1956年のCCPの第8回大会で労働者階級革命党（CCP）のリーダーシップの下で複数政党制を実施すべきだと述べた。

彼は他の政党を主導すべきだと提案しなかった。

以前は、CCPは1949年以来実際に最も多くの政権を支配していたが1957年、CCPは反右派キャンペーンを開始した。

少なくとも55万人の政治的迫害をもたらした他の小政党の政治的異議および数字に対して。

このキャンペーンは、社会主義共和国の限られた多元的性質を著しく損ない、国を事実上の一党制国家に変えました。

この出来事は、中国共産党が人民公社の形成を通じて国を農耕経済から工業化経済に変えようとした1958年からの次の5年間の壊滅的な結果につながった。

大躍進キャンペーンを開始することによって。大躍進により数千万人が死亡し、推定では1,500万人から5,500万人が死亡し、(人類史上最大の大量餓死)。

1960年代から1970年代にかけて、CCPは、ニキータ・フルシチョフの下で非スターリン化を行っていたソビエト連邦共産党からの重要なイデオロギー的分離を経験しました。

その時まで、毛は「プロレタリア独裁の下での継続的な革命」は、社会主義革命が完了したように見えても階級の敵が存在し続けることを規定し、数百万人が迫害された文化大革命につながったと言いつつ始めていた。

そして殺された。

文化大革命では、劉少奇、鄧小平、彭徳懐、賀竜は粛清または追放され、毛の妻である江青が率いる四人組に権力が委ねられた。

1976年の毛沢東の死後、中国共産党の華国鋒委員長と鄧小平副委員長間の権力闘争が勃発した。

鄧は闘争に勝利し、1978年に「最高指導者」となった。

鄧は胡耀邦、趙紫陽とともに改革開放政策を主導し、中国の特徴を備えた社会主義の思想概念を導入し、中国を開放した。

世界の市場に。

毛の「左派」政策のいくつかを逆転させる際に、デンは社会主義国がそれ自体が資本主義でなくても市場経済を利用できると主張した。

党の政治力を主張する一方で、政策の変更は著しい経済成長を生み出した。

しかしながら、新しいイデオロギーは、毛沢東主義者と政治的自由化を支持する人々によって、スペクトルの両側で争われた。

他の社会的要因とともに、紛争は1989年の天安門広場の抗議と虐殺で最高潮に達しました。

抗議行動は鎮圧され、改革党書記長の趙紫陽は自宅軟禁され、鄧氏の経済政策は再開され、1990年代初頭までに社会主義市場経済の概念が導入された。

1997年、鄧小平の信念（鄧小平理論）は中国共産党規約に組み込まれた。

CCP書記長の江沢民は1990年代に鄧氏を「最高指導者」として引き継ぎ、彼の政策のほとんどを継続した。

1990年代に、CCPは、軍事のおよび政治的に主導的だったベテランの革命的リーダーシップから、官僚機構の制度化された規範に従ってますます再生される政治エリートに変貌した。

リーダーシップは、昇進と引退、学歴、および管理と技術の専門知識に関する規則と規範に基づいて主に選択されました。

専門化された軍将校の大部分が別個のグループがあり、主に制度的チャネル内の正式な関係を通じて、CCPの最高指導者の下で奉仕している。

江沢民の名目上の遺産の一部として、中国共産党は、党憲法の2003年改正について、党が「先進的な生産力、中国文化の進歩的な進路、および基本人々の利益。理論は、民間事業主とブルジョアの要素の党への参入を正当化した

江沢民の書記長の後継者である胡錦濤は、2002年に就任した。

毛、鄧、江沢民とは異なり、胡錦濤は集団指導に重点を置き、政治システムの一人支配に反対した。

経済成長に焦点を当てることを主張することは、広範囲にわたる深刻な社会問題を引き起こしました。

これらに対処するために、胡主席は2つの主要なイデオロギー概念を導入しました。

それは、科学的発展観と和諧社会主義社会です。

胡主席は、2012年に開催された第18回国民会議でCCP書記長兼CMC議長を辞任し、習近平が両方の役職に就いた。

権力を握って以来、Xiは広範囲にわたる腐敗防止キャンペーンを開始し、過去数十年の集団指導を犠牲にしてCCP書記長の事務所に権力を集中させた。

コメンテーターは、キャンペーンをその定義部分として説明していますXiのリーダーシップと「彼が彼の力をこれほど迅速かつ効果的に統合することができた主な理由」。

外国の評論家は彼を毛に例えた。

Xiの指導部はまた、中国における党の役割の増大を監督してきた。

習近平は、2017年に彼自身にちなんで名付けられた彼のイデオロギーをCCP憲法に追加した。

推測されているように、習近平は2022年に10年間務めた後、彼のトップポストから引退することはできない。

2020年10月21日、カナダ外務国際開発常任委員会の国際人権小委員会（SDIR）は、中国政府による新疆ウイグル自治区およびその他のトルコ系イスラム教徒の迫害を非難し、中国共産党は党の行動は、ジェノサイド条約によるウイグル人のジェノサイドに相当します。

近年、主に外国のコメンテーターによって、CCPIにはイデオロギーがなく、党組織は実用的であり、何が機能するかに関心があると主張されている。

しかしながら、党自体はそうではないと主張している。

たとえば、胡錦濤は2012年に、西洋世界は「私たちを分裂させる恐れがある」と述べ、「私たちが弱い間、西洋の国際

文化は強い...イデオロギーと文化の分野が私たちの主な目標である」と述べた。

CCPは、党派学校とそのイデオロギー的メッセージの作成に多大な努力を払っている。

実践は真実の唯一の基準である [zh]「キャンペーンでは、イデオロギーと意思決定の関係は演繹的なものでした。

つまり、政策決定はイデオロギーの知識から派生したものでした。

最後に、中国の政策決定者は、ソビエト連邦の国家イデオロギーは「厳格で、想像を絶する、骨化した、現実から切り離された」ものであり、これがソビエト連邦の解散の理由の一つであると信じている。

彼らの党のイデオロギーは党の支配を守るために動的でなければならない。

党の主なイデオロギーは、中国の指導者の異なる世代に対応しています。

CCPと人民解放軍の両方が年功序列に従って推進しているため、中国の指導者の異なる世代を識別することが可能です。

公式の談話では、リーダーシップの各グループは、党のイデオロギーの明確な拡張で識別されます。

歴史家は、これらの「世代」を参照して、中華人民共和国政府の発展のさまざまな時期を研究してきました。